

わんぱく学園ニュース

平成18年 9～10月号 No126

真紅の茎、緑の葉、多数の小さな白い花をつけた花…そう…ツバの花が咲く頃……。真っ白いじゅうたんを敷きつめ、その風景に、しばし足をとめることも――。

「路(あ)の辺(へ)に、楚々(む)と咲きけり、ツバの花」 ～ 拙

見城先生との出会い、/本ものの図書館

東京 プロデューサー 常賀 信 寛

子供は生まれてくる環境を選べない。
だからこそ、それを迎える社会や大人の責任は大きい。
見城先生の「割りばしを割る時」という素晴らしい文章を、ここに御紹介したい。

割りばしを割るとき

見城 慶和

割りばしをバリッと割るとき いつも思い出す言葉がある。

「俺たちは、割りばしは洗わなきゃかわないよ」
北海道の炭坑から、この東京へ母と兄の三人で逃げてきた
弟の均が言うと 兄の修が、

「そうだよ先生、便所へ行ったって手も洗わねえで、この
はし作ってきたんだもん」と、照れ笑いしながら
話してくれた言葉を。

これだ！

この幼い二人を、便所へ行くひまもないほど追い立てたもの
この幼い二人に、こんな人間不信をたたきこんだもの

割りばしをバリッと割るとき胸わたがキュッと緊張するのだ。
このはしで食う飯は 怒りのエネルギーとなれ。

爽しくも、何と愛しい怒りに燃えた文章であるが、
見城先生と出会ったのは、今から5年前の夏の夕暮れ、東京都東区
にある立花中学校という夜間中学校の職員室だった。

丁度、私が「さとうきび畑」という歌で全盲のテノール歌手、新垣
勉を世に出した折で、その支援者だった先生に挨拶に行ったのが、きっ
かけだった。

汗ふきながら粗末な校舎を訪れた私に先生は、「まあ、冷たいもの
でも…」と冷蔵庫から、ペットボトルのウーロン茶を紙コップについ
で出してくれた。飾り気のない、ありのままの生き方通り、とてもお
いしく、心にしみ渡った。

先生は、三浦洋二監督の名作「学校」のモデルとなった人。
まるで仏のような顔つきの中に、深い愛情に裏づけられた怒りをみた。
「割りばし」の子供達にそうさせた社会の不条理に対する怒りである。

40年ほど前、学芸大学を出て、どこの学校へも行くことの出来た
先生だったが、古本屋で夜間中学校を知り、その世界に飛び込んだ。
以来、限りない愛情を10代～80代の生徒達にそそぎ込んできた。

昼間の中学校の立派な図書館を規定で使えないと言われた時、大工
である生徒が木切れを持って来て本棚を作り、皆で本を持ち寄り、自
分達の図書館を作ったそうだ。そう！それこそ本物の図書館なんだ！
贅沢な予算で本を並べている図書館なんかより。
先生をこのように駆り立てたものは何か……。

愛に満ちた「怒り」は、まことに清々しい。

帰り道、目頭の熱くなった私の心に、冷たいウーロン茶の清々しさ
が残っていた。

おことわり

わんぱく学園ニュース (H18 6～7月号 No125) に一部
誤りがありました。「子供の国歌」についてご紹介させて頂
きましたが、「国歌」を「国家」として掲載していました事、
訂正し深くお詫び申し上げます。

◆9月・10月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

9月 3日	おやすみにします
10日	おやすみにします
17日	粘土コネコネしてあそぼ! (担当 安食ひ・山口野) ・ 齋 アトリエ「おちらと」 ・ 料 300円 ・ 7月はおちらとへ直接いらしてもいいですよ ◎お月見だんご食べて お茶でも飲みながらね
24日	地区民体育大会の為、おやすみです 体いっぱい動かし楽しもう! 地域の友だちや大人の人とも仲良しになろうね!
30日 10月 1日	第1回ボランティアフェスタ出雲参加(齋・文・福・福・岡・野・車) ※似顔絵描いてもらおうか? 30日(土)午後1時~4時 10/1(日)午後10時~3時 (担当 榎野 麟)
8日	宍道湖であそぼ!! [ハゼ釣り] (担当 福田 稔・原 頼) ・ 釣ぎおがある人は持って来てね ・ 餌などは準備いたします ・ 宍道湖周辺のごみ拾いもしませんか!?
15日	荒神谷遺跡公園探検ごっこ(大雨の場合特別ミチル) ・ ごみ拾いの名人集合。ごみ袋は学園で準備 ・ 荒神谷管理棟前9時半集合(担当 榎野 麟・土江 継) ・ 迷った時は、齋(08038888421) 拉(09077745913)へ
22日	おやすみします
29日	粘土コネコネしてあそぼ! (担当 安食ひ) ・ 齋「アトリエ「おちらと」」 ・ 料 300円 ・ 7月はおちらとへ直接いらしてもいいですよ

★集合時間 9時半 ★集合場所 光人塾前駐車場

★学園問い合わせ先: 土江(☎ 0853-62-2007・☎ 09077745913)

(文責 土江 和世)